

お客様とスタッフを守る！ ウィズコロナの救急患者発生に備える対策セミナー

沖縄県およびOCVBでは、外国人観光客受入に係る緊急医療発生時の体制整備と支援を行っております。本セミナーでは、外国人観光客の緊急医療発生時において、観光客も観光従事者も守りながら、患者発生から病院搬送までの流れを習得することを旨とし、沖縄県内でもインバウンド受入再開が今後予想される中、各観光事業者が今できること、今しかできないことをしっかりと準備・対応し、回復後にはこれまで以上に良い観光地となる受入体制づくりを考えるべく、オンラインセミナーを開催致します。

プログラム① 沖縄における外国人観光客の現状及び傷病者の対応方法について

プログラム② 『みんなで学ぶ！ウィズコロナの救急患者発生に備える応急手当』

～顧客と従業員を守るための応急措置の手順や注意点について～

プログラム③ シンポジウム「インバウンド受入再開に向けて観光事業者にできること」



対談講師

高山 義浩 / たかやまよしひろ



沖縄県立中部病院感染症内科・地域ケア科 副部長
 沖縄県保健医療部地域保健課 主幹
 厚生労働省新型コロナウイルス感染症対策推進本部 参与
 日本医師会総合政策研究機構 非常勤研究員

 東京大学医学部保健学科、山口大学医学部医学科卒。
 九州医療センター、九州大学病院にて初期臨床研修後、
 2004年より佐久総合病院にて総合診療と在宅医療を学ぶ。
 厚生労働省を経て、2010年より沖縄県立中部病院において
 感染症診療に従事。また、同院に地域ケア科を立ち上げ、
 退院患者のフォローアップ訪問や在宅緩和ケアを開始。
 病院と地域包括ケアシステムの連携推進に取り組んでいる。

対談講師

熊田 順一 / くまだじゅんいち



株式会社 JTB 総合研究所 主席研究員
 主なプロジェクト実績
 ・日本人富裕層における海外旅行調査 (外国機関 / 2019年)
 ・G20 観光大臣会合および関連会合のサブスタンス支援業務
 (行政団体 / 2019年)
 ・持続可能な観光指標に関する調査 (日本版持続可能な観光ガイ
 ドラインの策定) (行政団体 / 2019年)

株式会社日本交通公社に入社後、2014年7月より日本人として初めて国連世界観光機関 (UNWTO) へ観光庁の推薦で派遣。3年間アジア太平洋部門のシニアオフィサーとしてアジア太平洋観光行政部門の窓口を UNWTO で務める。現在はグローバルツーリズム分野の担当として、世界情勢やトレンドを踏まえたマーケティング、ビジネスソリューション、調査を得意とする。2030年に地球全体で達成を目指す「持続可能な開発目標 2030 - Sustainable Development Goals 2030」の17の目標の中で、これから観光が果たす役割を「家族」「地域社会」「次世代」といった視点で考え、コンサルティング方針として掲げている。

公開日

2020年12月23日

対象

県内観光関連事業者、観光協会、市町村等

注意事項

県内のコロナウィルス感染症の状況を見て、動画公開終了日は未定となっております。公開日よりお早めにご視聴ください。

参加
無料



事前アンケート締切日 令和2年12月10日(木)

お申込締切日 令和2年12月21日(月)

協

力

一般社団法人沖縄県医師会、株式会社 JTB 総合研究所、沖縄県消防指令センター、那覇市消防局

お申込み、お問い合わせ
(受託事業者)

一般財団法人沖縄観光コンベンションビューロー受入事業部 受入推進課 鄭(てい)、金城
 ■FAX: 098-859-6222 ■メール: inbound@ocvb.or.jp

主催



沖縄県